

(7)「グローバル英語」について

〈仮説〉

native speaker の英語に多く触れることにより、外国の文化的背景や native speaker ならではの感覚を知り、少人数制の授業で発話の機会を増やすことで、スピーキング、リスニングの力を効果的に伸ばすことができるのではないか。また、対話を含む活動を通じて、他者の意見を尊重しながら自分の意見を論理的に発信する力を伸ばし、グローバル社会で求められるコミュニケーション能力の土台を培い、問題解決に向けて協働して努力する姿勢の育成につなげることができるのではないかと考える。

〈実施方法〉

週1時間、40人のクラスを20人ずつの2講座に分け、それぞれの講座でJTEとALTの2人がチームティーチングの形式で授業を行う。

身近な話題について、単独でのスピーチ、ペアワーク、グループワークを通じて、自分の意見を理由を添えて聞き手に分かりやすく伝える方法、人の意見や立場を尊重しながらグループ内で協力して対話を継続する方法を学び、学期末のパフォーマンステストで到達度をはかる。

〈授業の実施状況〉

月	時間	学習項目	学習内容
4	1	ガイダンス	・科目の目標、学習の留意点、評価方法などについて理解する。
5	3	インタビューテスト 導入	・会話をする際の話し手と聞き手の注意点や、会話表現などを学ぶ。 ・Brainstorming の手法を用いて自分の意見や考えをまとめる練習をする。
6	3	インタビューテスト 練習	・「If I were… (もし自分が自分以外の人や物になれるとしたら何になるか)」というテーマを設定。 ・Brainstorming を各自で行い、自分の考えを整理する。 ・各自で作成したマインド・マッピングをペアワークを通じて共有し、アイデアを出し合う。 ・ペアワークやグループワークでインタビューテストの練習を行う。
7	1	インタビューテスト	・ALT と JTE の前で1分程スピーチを行い、その内容についてALT からインタビューを受ける。
9	3	状況描写活動 スピーチコンテスト 導入	・複数の登場人物、動作が描かれたイラストを用いて、描かれている状況についてペアで会話する。 ・状況を描写する際に役立つ表現を学ぶ。 ・効果的なスピーチの構成を学ぶ。 ・ALT のモデルスピーチから、スピーチの仕方を学ぶ。 ・以下からテーマを設定し、スピーチの原稿を作成する。 「自分にとって特別なもの」 「自分を幸せにしてくれるもの」

10	2	リスニング活動 会話活動 スピーチ原稿作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ディズニー映画の「モアナと伝説の海」より「You're Welcome」の一部分を切り取り、ディクテーションを実施。 ・リスニング学習方法について学ぶ。 ・ALTが作成した人物になりきり、教室内で会う人に自己紹介を行う。 ・ライティングをする際によくある間違いを学ぶ。
11	3	スピーチ原稿作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTによる添削やペアワークによるチェックなどを通じてスピーチ原稿を改良する。 ・スピーチ評価のルーブリックを示し、それをもとにペアワークなどを通じてスピーチの練習をする。
	1	スピーチコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで1分間のスピーチを行う。(ALT・JTEで評価)
1	2	リスニング活動 ディスカッション 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・対話文を聞き、状況を素早く把握する。 ・リスニングにおいて重要な音声の特徴や、日常会話で役に立つ表現等を学ぶ。 ・ディスカッションを進める上で、役立つ表現を学ぶ。 ・以下のトピックについてBrainstormingを行い、自分の考えをまとめる。 「ペットを飼うなら何が良いか」 ・Brainstormingで整理した内容をもとに、ペアで意見交換をする。
2	2	ディスカッション 実践	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のトピックについて、Brainstormingをして自分の考えを整理する。 「動物園で動物を飼育するべきか」 「化粧品や薬を使用する上で、動物が実験の対象になっていることをどう考えるか」 ・Brainstormingで整理した内容をもとに4人グループで意見交換をする。
	1	グループディス カッションテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のトピックについて5分間、4人グループでディスカッションを行う。(ALT・JTEで評価) 「動物の生息地を保護するためにどんなことをするべきか」をテーマとする。 ・「ディスカッションで必要な定型表現を適切な状況で使いながら、積極的にディスカッションに参加しているか」などを基準に評価する。



〈成果と課題〉

今年度のグローバル英語の授業を始めるにあたって、英語の発信力を育成するために一方向の発表活動から次第に生徒同士の双方向のやりとりへと発展させるように年間の計画を立てた。1学期は生徒が各自の自由な発想で考えられるように「If I were…（もし自分が自分以外の人や物になれるとしたら何になるか）」というテーマを設定した。生徒はマインド・マッピングを通じて Brainstorming を行うことで、マインド・マップに書かれたキーワードのみを見ながら発話することに少しずつ慣れてきたように思う。7月に実施したインタビューテストでは内容についての ALT からの質問にも上手に答えることができる生徒もいた。

2学期は「自分にとって特別なもの」「自分を幸せにしてくれるもの」というテーマでスピーチすることを目標に活動させた。まずマインド・マッピングからスタートさせ、「何故自分にとって特別なのか、また幸せにしてくれるのか」ということを、論理立てながら原稿を作成できるように工夫をした。まずペア・チェックを通じてマインド・マッピングに書かれている理由が客観的に理解できるものかどうかを確認させた。その後出来上がった初稿を ALT が添削し、共通に見られる誤りについても授業の中でフィードバックした。これらによってスピーチコンテストの際の原稿はより良いもの仕上げることであった。また ALT がより良いプレゼンテーションの方法について説明し、コンテスト直前の授業ではそのリハーサルとしてグループでの発表練習をさせた。生徒達はお互いの発表を聞き合っ、アイコンタクト・自然なイントネーション・声の明瞭さなどに関して、率直にフィードバックを交わしている姿が印象的であった。

3学期は双方向のやりとりの一環として、グループでのディスカッションを指導した。「動物との関わり」を大きなテーマとして設定し、それに関連したトピックをめぐってディスカッションをさせることによって能動語彙の増強を図った。1・2学期の発信活動と同様にマインド・マッピングを使って自分の意見とその根拠を考えさせ、ディスカッションで必要な定型表現を適切な状況で使わせながら、授業4回を使って練習をさせた。最後にグループでのディスカッション・テストを行い、声の明瞭さ、意見の論理性、定型表現の使用回数等を基準に評価した。

以上のように年間を通して、最初は自由にマインド・マッピングすることに戸惑い、間違ふことや目立つことを恐れて、自由に発話することに慣れていなかった生徒も中にはいたが、文法的な正しさよりもお互いの意見の内容に耳を傾けることを大切にすることを指導する中で、次第に英語で自己の意見を発信することにも慣れてきた。授業中の ALT からの指示・説明についても、当初 JTE からの補足に頼ろうとしていた生徒も、次第に一度で聞き取ろうとする姿勢がついてきた。

反面、次項〈授業の振り返り〉の生徒の声にも見られるように、能動語彙として生徒が使えるものはまだ限られたものになっていることは否めない。またその場で言いたいことを即興で発話することにより慣れさせる必要がある。今後の課題としては、発話までの時間を次第に短くし、マインド・マッピングなどの過程を経ずに自己の意見を発信する機会を増やしていくこと、またより高いレベルの語彙や表現をいかにスピーチやディスカッションなどの活動で使うことができるかを指導し、その機会を提供する方法を模索することが必要であろう。

〈授業の振り返り〉

○ALT の先生が話している内容が分かったとき、とても嬉しかったです。それから、自分の知っている単語で伝えたいことを伝えられたときは英語が楽しいと思えました。

○私は英語がとても苦手ですが、グローバル英語は嫌いではありません。ALT の先生は明るく楽しいです。でもやっぱり発音などはまだまだで、とても上手な人もいますので、もっときれいな発音ですらすら言えるようになりたいです。

○1学期はALTの先生が本当に何を言っているか理解できずつまらなかった。しかし、2学期終盤になると少し言っていることがわかって楽しいと思う瞬間ができてきた。積極的に授業に参加した成果だと思う。2年生になれば語彙も増えていくと思うので、より積極的に授業に参加していきたいと思う。

○聞く・話すことに積極的に取り組めたのでとても良かったと思う。話すことで英語との距離が前より近くなった気がして嬉しかった。

○最初は自分の言いたいことが英語で上手く伝えることができなかった。けれど、回数を重ねていったり、友達や先生からアドバイスをもらったりしたおかげで、だんだんと自分の言いたいことを伝えることができるようになった。これからも少しずつ外国人の方とコミュニケーションをとれるようになりたいです。

○留学を考えているので、そのとき生かせる日常会話の表現を覚え聞き取れるようになりたい。以前よりも発音が聞き取りやすく、また話せるようになったと自負している。

○授業中先生が英語で話しているのを理解しようとすると、テストのときのリスニングがすごく聞きやすくなりました。最近では正答率も上がっていて嬉しいです。この授業に対する姿勢をこれからも続けたいと思う。

○ペアワークで相手との英語の会話が上手くできるようになった。またスピーチテストのとき、流暢さ、声の大きさ、アイコンタクト、姿勢などを意識して頑張った。今後外国人の人とスムーズに会話できるようになりたい。

○英語で会話しなければならないので、自主的に知らない単語や発音を調べる習慣が身に着いたと思う。

○自分で文章を考えてそれを発表することはできたと思う。しかし、頭の中で考えてすぐに話したり、日本語から英語に変換することはまだ難しいので、今後できるようになりたい。

○社会問題について話すとき、なかなか言いたい意味の単語が浮かばず伝えるのが難しかった。

